

実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則及び
研究開発段階にある発電の用に供する原子炉の設置、運転等に関する規則
の一部改正について

平成 19 年 7 月 3 日
経 済 産 業 省
原子力安全・保安院

1. 改正内容

実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第 19 条の 17 及び研究開発段階にある発電の用に供する原子炉の設置、運転等に関する規則第 43 条の 14 について、次の号を加える改正を行い、想定外の制御棒の引き抜けを事故故障等の報告の対象とする。（現行の 13 号は 14 号に変更。）

十三 挿入若しくは引抜き操作を現に行っていない制御棒が当初の管理位置（保安規定に基づいて原子炉設置者が定めた制御棒を操作するための手順書において、制御棒を管理するために一定の間隔に基づいて設定し、表示することとされている制御棒の位置をいう。以下同じ。）から他の管理位置に移動し、若しくは当該他の管理位置を通過して動作したとき又は全挿入位置（管理位置のうち制御棒が最大限に挿入されることとなる管理位置をいう。以下同じ。）にある制御棒であつて挿入若しくは引抜き操作を現に行っていないものが全挿入位置を超えて更に挿入される方向に動作したとき。ただし、燃料が炉心に装荷されていないときを除く。

2. スケジュール

パブリックコメントを平成 19 年 5 月 7 日から 6 月 5 日まで実施し、6 月 15 日に公布、施行済み